

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課 地域医療室	所属長名	花島 純子	電 話	483-1151 内線2212
-----	-------	-----	-------------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4113	事務事業名称	地域医療対策事業					短縮コード	経常	4113	臨時	3185
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	01	保健衛生総務費
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市補助金等交付規則 八千代市東京女子医科大学附属八千代医療センター整備事業補助金交付要綱 八千代市東京女子医科大学附属八千代医療センター救急医療事業等補助金交付要綱						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
夜間や休日における急病患者に対する診療を市内医療機関が輪番で行う。また、東京女子医科大学八千代医療センターは、八千代市の地域医療を支援する中核病院として、市の医療提供体制の向上を図るとともに、地域の医療機関と連携して急性期医療をはじめとする高度医療を担う。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして					
平成18年12月8日に東京女子医科大学八千代医療センターが開院し、本市の医療体制の充実が図られた。また、内科・外科の休日在宅当番医制度に加え、19年度から歯科についても在宅当番医制度を実施している。					大項目（節）	01	保健・医療					
					中 項 目	02	医療					
					小項目（施策）	01	地域医療体制の整備・充実					
						02	救急医療体制の整備・充実					
					細 項 目	01	地域医療体制の整備					
						02	救急医療体制の整備					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	救急診療を必要とする市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： ○医師会（歯科医師会含む）との夜間救急待機医・休日当番医の業務委託契約の締結と毎月の実績に応じた委託料の支払い。また、対象者に対しては、テレフォン案内及びホームページで当番医等を周知する。 ○八千代医療センターの整備費及び救急医療事業等への概算払いによる補助金の交付。 ○救急医療等に関する相談及び意見への対応。							
	※平成22年度に計画していること： 21年度と同じ。							
意図 （何を狙っているのか）	市民が休日・夜間の緊急時に適切な医療を受けられるようにする。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市民	人	187, 248	191, 732	192, 570	196, 000	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	診療日数	日	437	437	437	437	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	受診者数	人	25, 577	25, 577	32, 485	32, 485	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4113	事務事業名称	地域医療対策事業				所属名	健康福祉課 地域医療室
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			○市民を取り巻く様々な社会状況から医療に対するニーズが増大すると考えられるが、経費や医療を提供する側の人的要因を考慮すると現状のまま継続したい。 ○現在の医療体制を維持することで、市民の安全を確保する。 ○救急医療体制の体系的仕組みや適正な利用方法について、本来の救急患者の診療に支障をきたすことがないように普及啓発を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			今後もコストを維持するとともに、現在の医療体制を安定させ、市民への医療提供を支援する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
現在の市財政状況から東京女子医科大学八千代医療センターに対する助成内容の見直しを求める意見があるが、一方では、現在構築されている医療体制を守るため、更なる充実を望む意見もある。									

所属長コメント	本市の地域医療は、市の中核病院として開院した医療センターと、地域医療機関との連携により体制が構築され、充実が図られている。安心した市民生活を送るうえで欠くことのできないこの医療体制を、安定・継続させ、充実させていくことが必要である。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									